

えがお
愛媛の

とくべつし えんがっこうぎのうけんてい
えひめ特別支援学校技能検定

テキスト

せい そ う
清 掃

じ む し ょ せいそう
— 事務所清掃① —

ゆか
(フローリング床)



愛媛県イメージアップキャラクター

みきやん

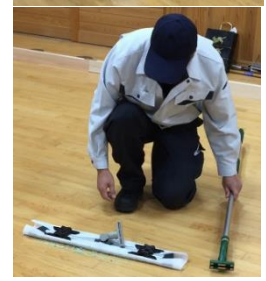
え ひ め け ん き ょ う い く い い ん か い
愛媛県教育委員会

R7年度(10 訂版)

【事務所清掃①】 手順表

せいげんじかん ぶん
制限時間15分

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうないよう 作業内容	しゃしん とう 写真・イラスト等
1 み 身だしなみ	① せいそう ふうそう 清掃にふさわしい服装をする。 ② せいけつ き つ 清潔に気を付ける。	
2 じぜんじゅんぴ 事前準備	① かいじょうほじょ ほん へんじ 会場補助「0番△△さん。」返事をする。 かいじょうほじょ じぜんじゅんぴ はじ 会場補助「事前準備を始めてください。」事前準備を始める。 ② どうぐ かくにん た ほうこく 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。 □かご (きょうたう (ぬれ拭き用) 1枚、白たう (から拭き用) 1枚) □バケツ (機 拭き用) □クロス □ダスタークロスヘッド かく ふうさいと まい □角バケツ □房糸1枚 ③ しろ たうを八つ折にたたんで、かごに入れる。 ④ きいろ たうを八つ折にたたみ、ぬらす。 ※ゆすぐときはよつ折の状态に広げる。 ⑤ きいろ たうをしっかりと絞る。 ※や おり へんじ 16折で絞る。 ⑥ きいろ たうを八つ折にしてかごに入れる。 ⑦ ダスタークロスヘッドにクロスを取り付ける。 ⑧ ふうさいと をぬらす。 ⑨ ふうさいと しほ 房糸を絞る。 ※ふうさいと どうぶん かたて よこぎ も はんたい て ※房糸を等分にし、片手で横木を持ち、反対の手で ねじって絞る。 ⑩ かいじょうほじょ じゅんぴ ほうこく 会場補助に「準備ができました。」と報告する。	  
3 どうぐじゅんぴ 道具準備	① しんさいん ばん いう へんじ 審査員「0番△△さん スタート位置にお立ちください。」返事をして、 かごとダスタークロスヘッドと房糸を持ってスタート位置に立つ。 しんさいん じゅんぴ はじ 審査員「準備を始めてください。」準備を始める。 カートの決められた位置にかごとダスタークロスヘッドと房糸をセットする。カートの道具 ② かくにん た ほうこく を確認し、足りないものがあれば報告する。 さぎょうひょうじばん じざい □作業表示板 □自在ぼうき (30cm) ぶんか ぶくろ え □文化ちりとり □ごみ袋 □柄 ③ え なが ちょうせつ 柄の長さを調節してカートにセットする。 ④ しんさいん じゅんぴ ほうこく 審査員に「準備ができました。」と報告する。	 

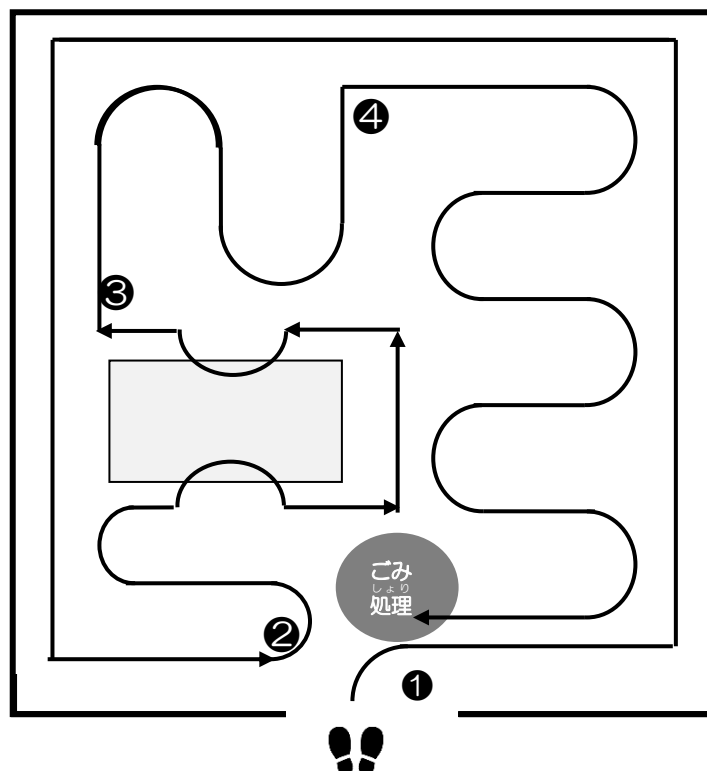
4 さぎょうかいし 作業開始  にゅうしつあいさつ 入室挨拶	① しんさいん 審査員「では、さぎょう はじ 作業を始めてください。」 て あ はじ い 手を挙げ「始めます。」と言う。 ② せいそうばしょ ちか いどう カートを清掃場所の近くへ移動する。 ③ さぎょうひょうじばん た 作業表示板を立てる。 ④ しつれい いちれい しつない はい 「失礼します。」と一礼して室内に入る。	 
5 しより ごみ処理 さぎょうじゅんび 作業準備	① い 入れの中に入れる。 ぶくろ くち ※ごみ袋の口は、しばらくカートに入れてもよい。 ② あたらし ぶくろ 新しいごみ袋をセットする。 ③ ばこ い す つくえ うえ お ごみ箱と椅子を机の上に置く。 さぎょう じゃま あんぜん お かた ※作業の邪魔にならない安全な置き方をする。	 
6 じょじんさぎょう 除塵作業	① え と つ ダスタークロスヘッドを柄に取り付ける。 ② そと い ぐち じょじん さぎょうばしょ はい 外から入口を除塵し、作業場所へ入る。 さいしょ いりぐち ぶ き つ ※最初に入口のゴミを踏まないように気を付ける。 さぎょう す 作業図 (I-(7)-①-4) の手順で除塵作業を行う。 ③ はばきがわ ① 幅木側 つくえ した ② 机の下 ちゅうおうぶ ③ ④ 中央部 ぜんしん でぐち む いっかしょ あつ ※前進しながら出口に向かって一箇所に集める。 ④ かたひざ え 片膝をついて、柄とヘッドをはずす。 ⑤ はず い ヘッドからクロスを外し、カートのごみ入れの中に入れる。 ⑥ はず ヘッドと柄を外し、それぞれをカートの決められた位置に戻す。 ⑦ じざい ぶんか と 自在ぼうきと文化ちりとりでゴミを取る。 ⑧ よすみ ちゅうおう つくえ した と のこ 四隅と中央、机の下など、ゴミの取り残しがな かくにん い確認する。 ⑨ じざい ぶんか もど 自在ぼうきと文化ちりとりをカートに戻す。	   

7	みずぶ 水拭き さぎょう 作業	① ふさいと え と つ 房系を柄に取り付ける。 ② はばきないしゅう はんときいまわ ふ ① モップで幅木内周を反時計回りに拭く。 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ③ ~⑤ つくえ した つくえ しゅうい 机の下・机の周囲 ⑥ ~⑫ へ や ちゅうおう 部屋の中央 ⑬ ていりぐち 出入口 ④ でぐち ふ のこ かくにん 出口で拭き残しがないか確認する。 ⑤ ふさいと え はす え なが ちち モップの房系と柄を外し、柄の長さを縮めてカートに戻す。	    
8	つくえふ 机拭き さぎょう 作業	かごをも にゅうしつ 机を持って入室する。 ① ごみ箱と椅子を元の位置に戻す。 い す つくえ すこ はな ※椅子を机から少し離しておく。 ② ① ぬれ拭きタオルでふち⇒② 中央を拭く。(横拭き) ③ ※タオルの面を変える。 ④ ③ ぬれ拭きタオルでふち⇒④ 中央を拭く。(縦拭き) ⑤ ① から拭きタオルでふち⇒② 中央を拭く。(横拭き) ⑥ ※タオルの面を変える。 ⑦ ⑥ から拭きタオルでふち⇒⑦ 中央を拭く。(縦拭き) ⑧ ふ のこ すいぶん のこ 拭き残しがないこと、水分が残っていないことを確認する。 ⑨ まい もと 2枚のタオルをかごに戻す。 ⑩ い す もと もと ※椅子を元に戻す。	   

9	たいしつあいさつ 退室挨拶 かたづ 片付け	① かご^もを持ち、出口^{でぐち}で室内^{しつない}に向かって、「失礼^{むしつれい}しました。」と一礼^{いちれい}し退室^{たいしつ}する。 ② かごをカート^{もど}に戻す。 ③ さぎょうひょうじばん^{もど}作業表示板^{もど}をカートに戻す。 ④ カート^{ほかんばしょ}を保管場所^{もど}に戻す。	
10	さぎょうしゅうりょう 作業終了	① スタート^{いち}位置^たに立ち、手を挙げ「終わ^てりました。」と報告^{ほうこく}する。 ② 審査員^{しんさいん}に「ありがとう^あございました。」と挨拶^{あいさつ}する。	

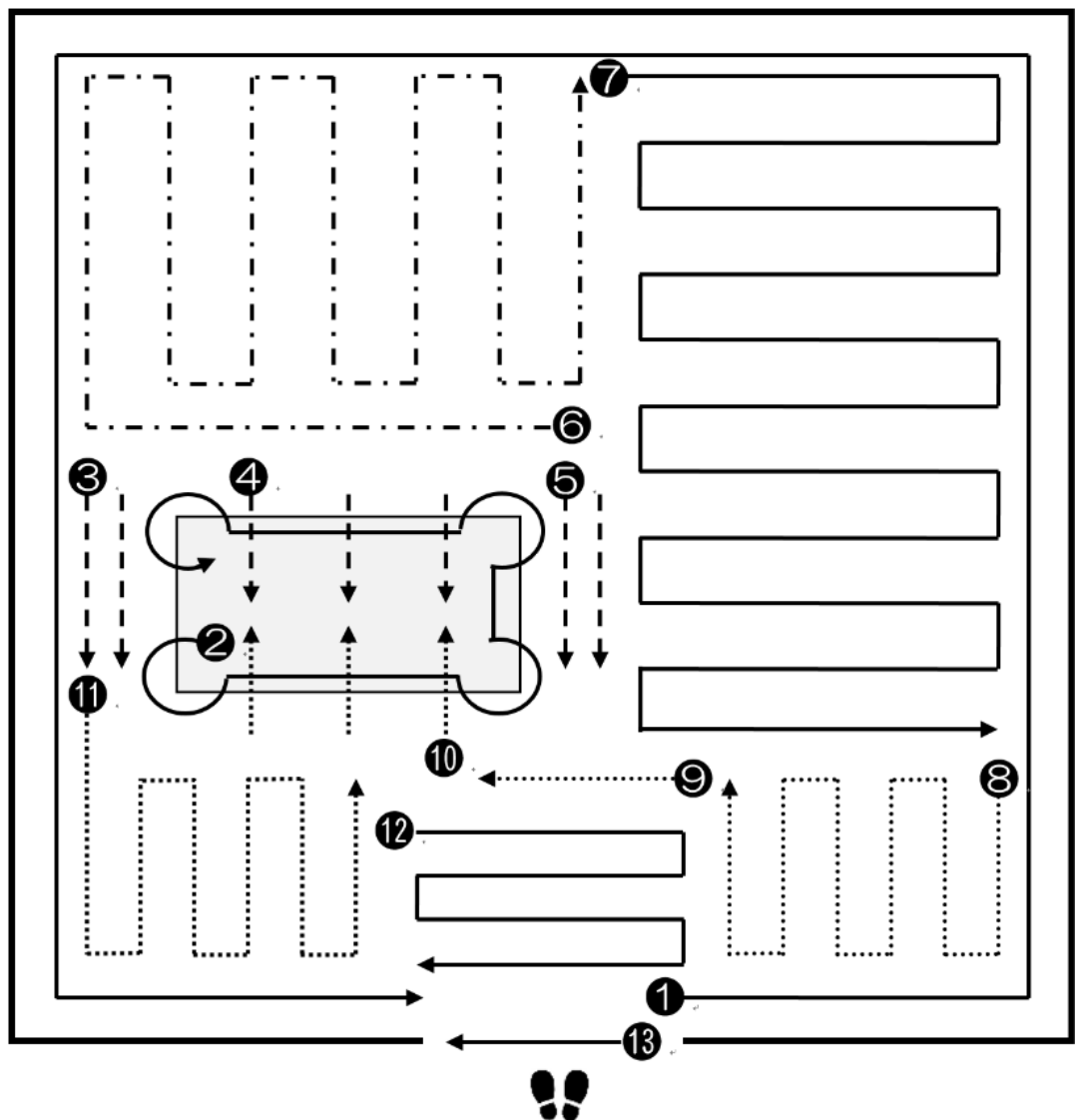
さぎょうす
《作業図：ダスタークロス作業の手順》

ばんごう すす ほうこう じゅんぱん あらわ うご かいすう てきぎ か かま
※番号は進む方向の順 番 を 表 す。クロスを動かす回数は適宜変えて構わない。



さぎょうす みすぶ さぎょう てじゅん
《作業図：水拭きモップ作業の手順》

ばんごう すす ほうこう じゅんばん あらわ うご かいすう てきぎ か かま
※番号は進む方向の順番を表す。モップを動かす回数は適宜変えて構わない。



【事務所清掃①】

解説

1	※【清掃の基本】解説 ①身だしなみを参照
2	しぜんじゅんび 事前準備 ※【清掃の基本】解説 ②道具準備を参照 バケツ かご ダスタークロスヘッド クロス 黄色タオル 白色タオル 角バケツ 房糸(規格260gの物)
3	どうくじゅんび 道具準備 ※【清掃の基本】解説 ②道具準備を参照 ダスタークロスヘッド ごみ袋 さぎょうひょうじばん 作業表示板 モップ房糸 かご 柄 自在ぼうき ぶんか 文化ちりとり
4	にゅうしつ 入室 ※【清掃の基本】解説 ③作業開始、④入退室挨拶を参照

5	ごみ処理、準備 ■ここでは、ごみ箱の中身を袋ごと取り出し、カートのごみ袋に入れ処理します。 新しい袋を忘れないようにセットしましょう。 ■机の上に椅子とごみ箱を置きます。椅子を上げる時には、脚の部分が回転しないように、脚の部分と背もたれの部分を持って上げます。 ■椅子の脚が机からはみ出さないように置きます。清掃中に、椅子に当たってけがをしたり、椅子を落としたりするのを避けるためです。
7	除塵作業 ※基本清掃「ダスタークロス」解説を参照
8	水拭き作業 ※基本清掃「水拭きモップ」解説を参照
9	机拭き作業 ※基本清掃「机拭き」解説を参照  ■椅子をぬらさないように、少し後ろに下げて作業します。作業が終わったら、忘れずに元の位置に戻します。
10	退室挨拶、片付け ※【清掃の基本】解説 ④入退室挨拶、⑤片付けを参照 
11	作業終了 ■仕事は、時間内に終わることが大切です。効率よく確実に清掃を終える努力をしましょう。

じ む し ょ せ い そ う ひ ょ う か ひ ょ う
【事務所清掃①】 評価表

せいげんじかん
制限時間15分
 がつ にち
 月 日

	こ う も く 項 目	ひ ょ う か 評価	び こ う 備考
1	① ☐ 身だしなみを整えている。 ※身だしなみ評価表を参照		
2 事前準備	① ☐ 片膝をついて作業する。(床に両膝をつけない。)		
	☐ タオルを、正しい方法で八つ折にたたむ。		
	☐ タオルの端がそろうようにたたむ。		
	② ☐ 周りに水を散らさないよう注意する。		
	☐ 縦絞りで、しっかり絞る。		
	☐ 立つ前に手の水滴を拭く。		
	☐ かごに2枚のタオルを重ねないようにセットする。		
	③ ☐ クロスをヘッドにたるみがないように取り付ける。		
	☐ 房系を等分に分け、正しい絞り方をする。		
	④ ☐ 房系から水滴が落ちないよう、しっかり絞る。		
	☐ 絞り終わったら房系をまっすぐに整える。		
3 道具準備	① ☐ カートの決められた位置に使用する道具を置く。		
	② ☐ 柄の長さを目～鼻辺りの高さに調節する。		
	③ ☐ 道具を確認し、足りないものがあれば、報告する。		
4 作業開始	① ☐ 適切な声の大きさや態度で作業開始を伝える。		
	② ☐ カート、作業表示板を適切な位置に置く。		
5 処理等	① ☐ ごみ箱の中身を袋ごと取り出し、新しいごみ袋をセットする。		
	② ☐ ごみ箱と椅子を机からはみ出さないように置く。		
6 除塵作業	① 持ち方 ☐ 柄の先端を親指で押さえる。		
	☐ もう一方の手は順手で柄を握る。		
	☐ ごみを踏まないように、作業を進める。		
	☐ 幅木や机の脚にヘッドを当てない。		
	② 掃き方 ☐ 中央部は、ヘッドを半回転させながら左右に振る。		
	☐ 集めたごみが常にくるよう、ヘッドの向きを変えない。		
	☐ 途中でクロスを浮かさず、最後まで除塵する。		
	☐ 決められた順番で掃き進め、ごみを集める。		
	☐ 無理のない姿勢や正しい構えで作業を進める。		
	③ ③ 処理 ☐ クロスの汚れた面を内側にしてたたみ、ごみ袋に入れる。		
	☐ 文化ちりとりの中に、ほうきの先半分を入れるようにして、取り残しがないようにごみを取る。		
	④ 点検 ☐ ごみの取り残しはないか確認し、取り残しているごみがあれば取る。		

7 水拭き作業	① 持ち方	え せんたん おやゆび お □柄の先端を親指で押さえる。			
		いっぽう て じゅんて え にぎ □もう一方の手は順手で柄を握る。			
	② 拭き方	はばき つくえ あし ふさいと □幅木や 机 の脚に房系をつけないように拭く。			
		つくえ え □机 に柄をぶつけないように拭く。			
		すみ つくえ あしまわ ていりぐち ふさいと て も ふ □隅、机 の脚周り、出入口では、房系を手で持って拭く。			
		ふ □拭いたあとを踏まないように作業を進める。			
		き じゅんばん さぎょう すす □決められた順 番 で作業を進める。			
		ふ のこ □拭き残し、拭きむらがないように拭く。			
		ときどきうらがえ りょうめん しょう □モップを時々裏返し、両 面 を使用する。			
	むり しせい ただ かま さぎょう すす □無理のない姿勢や正しい構えで作業を進める。				
③ 点検	ていりぐち ふ のこ かくにん □出入口で拭き残しがないか確認する。				
8 机拭き作業	① 持ち方	や おり しょう □タオルを八つ折にして使用する。		※タオルは八つ折を基本とする。手の大きさに合わせて使いやすい大きさのタオル（八つ折にして使用するもの）を持参しても可。	
		て た おる ちゅうしん お ゆび はさ も □手をタオルの中心に置き、指で挟むように持つ。			
	② 拭き方	つくえ いっしゅう あと て はな いちれん なが ふ □机 のふちを一周した後、（手を離さず）一連の流れで拭く。			
		ふ ぶ よこぶ たてぶ □ぬれ拭き、から拭きとともに横拭き、縦拭きをする。			
		よこぶ たてぶ うつ とき めん か □横拭きから縦拭きに移る時、タオルの面を変える。			
		ふ お あと しろいろ か ふ □ぬれ拭きが終わった後、白色タオルに変えて、から拭きする。			
		ふ あと かさ ふ ふ のこ □拭き跡が重なるように拭き、拭き残しがない。			
むり しせい ただ かま さぎょう すす □無理のない姿勢や正しい構えで作業を進める。					
③ 点検	ふ のこ すいてき のこ かくにん □拭き残しはないか、水滴が残っていないか確認する。				
9 片付け	①	しょう どうぐ き ばしょ すべ かたづ □使用した道具をカートの決められた場所に全て片付け、カートを保管場所に戻す。			
10 作業全体	①	てきせつ こえ おお たいど しゅうりょうほうこく あいさつ □適切な声の大きさ・態度で 終 了 報告や挨拶をする。		※ 発語 がない場合は手を挙げなどあいする等合図する。	
	②	さぎょう すす □スムーズに作業を進める。			
		こうどう ふんい ない さぎょう すす □きびきびとした行動（12分以内）で作業を進める。			
かかった時間		分	秒	〇の数	

コメント

きゅう級

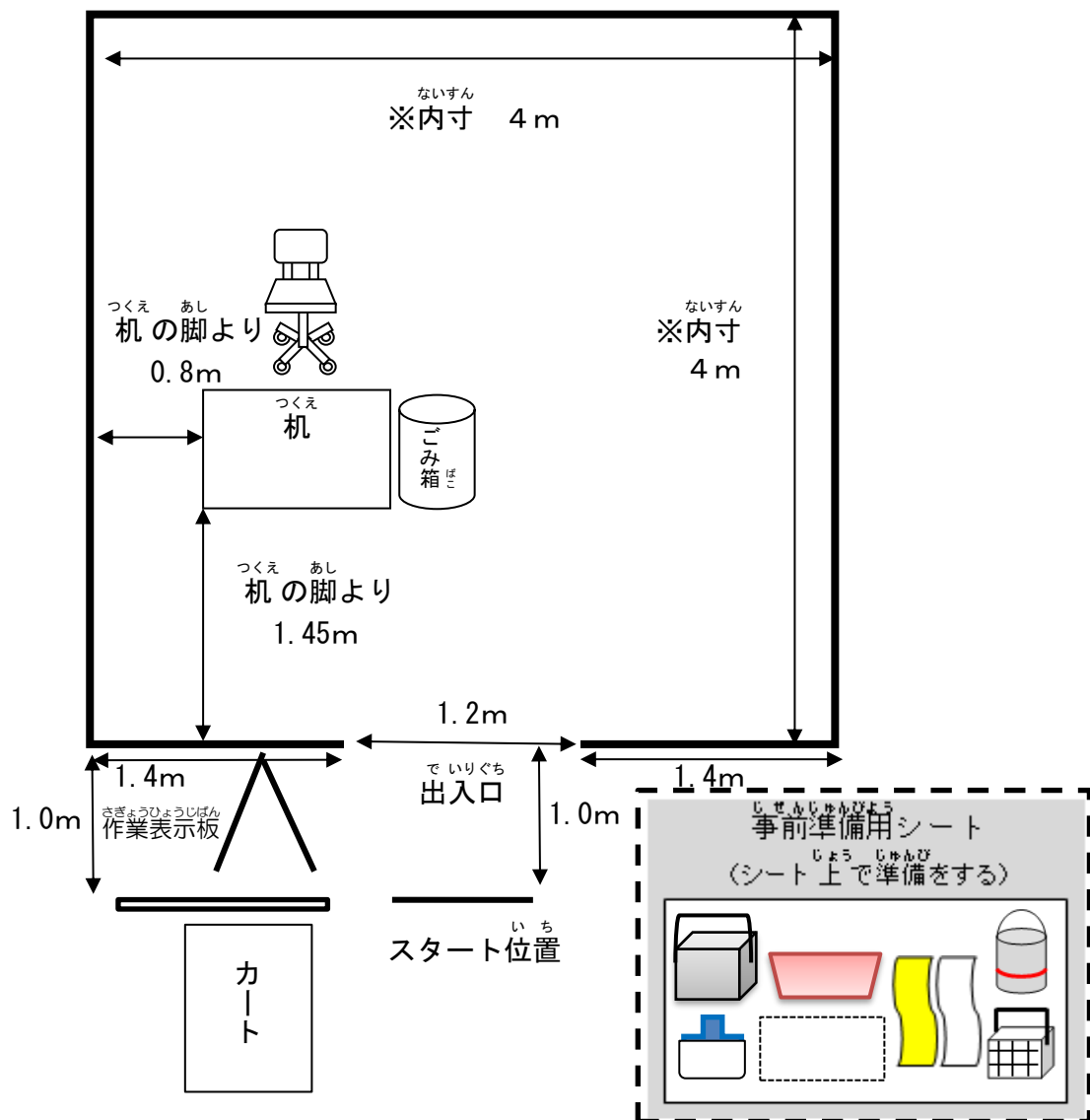
〇の数	1～5	6～10	11～15	16～20	21～23	24～26	27～29	30～32	33～34	35
級	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- できていない評価項目に☑を入れます。評価欄の枠内の全ての課題がクリアできれば〇がつきます。
- 制限時間15分を超えた場合は、その時点で検定は中止し、級外とします。

ば せってい じ む し ょ せいそう ≪場の設定≫ 事務所清掃①

- 1 テープ又は幅木により区画されたおよそ4m×4mの範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 試技コートにある机は移動させないこととします。
- 4 資機材について
 カートにセットしてあるものを使用します。
 タオルは、黄色をぬれ拭き用、白色をから拭き用とします。
 ほうきは、自在ぼうき（毛幅30cmのもの）を使用します。

はいちず かいじょう つごう へんこう
 配置図（会場の都合で変更することがあります。）



※出入口の前は、廊下の設定です。

※作業表示板は、出入口付近の通行の邪魔にならない場所に置きます。

また、廊下を通行する人が遠くからでも清掃中であることが分かるように、見えやすい向きに置きます。